

## 配列の活用

### すべての単壁 VZ

単壁を左上と右上の2点座標で表わす。単壁の枚数を  $\text{maxtk}$  と表わす。k番目の単壁を  $A_k$  と表わすことにすると壁の全面積は

$$- \sum_{i=1}^{2^{\text{maxtk}}-1} (-1)^{d_i} \left( \bigcap_{k \in @i} A_k \right)$$

で表わされる。

### 抽出した単壁 WZ (WX)

$\text{tk}=1.. 2^{\text{maxtk}} - 1$   
 のそれぞれの  $\text{tk}$  に対して抽出する単壁の番号の集合  $@\text{tk}$  がある。個数が  $\text{kosu} = \partial\text{tk}$  である単壁の番号を  $\text{vw}[1].. \text{vw}[\text{kosu}]$  で表わす。

この番号で抽出した単壁は上辺の2つの頂点の座標(要素)で表わされ、配列  $\text{WZ}$  をつくる。

### ルツボ XZ

初期化して、 $\text{WZ}$  の最後の2要素(単壁1個分)を移動する。

$\text{WZ}$  と  $\text{XZ}$  がともに空でないとき次の作業をする。

- 1)  $\text{XZ}$  のデータを  $\text{AZ}$  に移動し、 $\text{XZ}$  を空にする。
- 2)  $\text{AZ}$  の  $\text{WZ}$  の次の配列データ候補との重なりを  $\text{XZ}$  に貯める。

$\text{WZ}$  が空または  $\text{XZ}$  が空のとき作業を終了する。

### サシミ AZ

空の  $\text{AZ}$  にルツボ  $\text{XZ}$  から配列データ群を移動する。  
 ( $\text{XZ}$  は空になる)

$\text{WZ}$  の次の配列データ候補との重なりを求める。重なりがあれば  $\text{XZ}$  に入れる。

最終的に  $\text{XZ}$  が空ならば抽出した単壁  $\text{WZ}$  の重なりは空となり、形態率は0である。



$\text{XZ}$  にデータがあればそれは抽出した単壁  $\text{WZ}$  の重なり部分を示している。これをもとに形態率の計算する。  
 $\text{XZ}$  にデータがなければ形態率の値は0である。

